SORA／安田芙充央

ロマンティシズムからアヴァンギャルドまでの振れの大きさは異様なほどで，狂気を忍ばせた音世界は安田にしか創出できないもの

安田芙充央の基盤にあるのはもちろんクラシックとジャズなのだが，そこを突き抜けて現れる音楽は超個性的。ピアノで奏でられるメロディーや弦楽器の響きはとてもロマンティックなので，それに浸り切って穏やかな気分になっていると，どこからかアブナイ音が現れてハラハラドキドキさせられる。ロマンティシズムからアヴァンギャルドまでの振れの大きさは異様なほどで，情景を思い浮かばされる音，あるいはアンビエント・ミュージック的な音，それらの中に狂気を忍ばせた音世界は安田にしか創出できないものだ。

ヨアヒム・バーデンホルスト，井野信義，萩原貴子，木ノ脇道元，Akimuseといったミュージシャンたちも，それぞれの個性を安田に取り込まれ，彼の音楽の一部分と化しているのだが，それでも全員が嬉々として安田ミュージックの中で自在に泳いでいる様は，聴いていてとても心地よい。過去の作品に収録されていた曲もいくつか登場するが，それらは，編成を変えたりピアノ・ソロで演奏されたりして原曲とは異なる光を放ち，“SORA”と題されたアルバムの中で強いアクセントとなっている。（大村幸則）

■①SORA 空　②スカイ・ラメント　③フィターリ　④ブラディ　⑤イントレランス　⑥ロスト・エラ　⑦階段上のギグ　⑧廃墟の光　⑨ママの場所　⑩まほろば　⑪ルクレツィア

■安田芙充央（p,melodica,key,org,syn-b,per,②⑧⑩：p,③：el-p, ⑩＝solo）　ヨアヒム・バーデンホルスト（①vo,voice,cl,bcl,ts,②⑦⑧：cl,④⑥：cl,bcl）　木ノ脇道元（③：fl,⑩：afl）　萩原貴子（③⑩：fl）　アキミューズ（①⑤：vo）　井野信義（②④⑥⑦⑧：ac-b）　アジアン・アート・ストリングス（①④⑥⑨：strings）　川崎で録音　2024年作品

■プルクワレーベル　Pourquoi Label　POUR-1012　発売中　3,000円（税込）